

地域社会とつながる ピクテ・ミライ・プロジェクト

210余年の歴史を持つピクテ・グループは、
経営理念の中核にある「サステナビリティ」のもと、
さまざまな形で地域社会への還元に努めて参りました。

ピクテ・ミライ・プロジェクトは寄付を通じて日本の地域社会に還元し、
日本のサステナブルな未来に貢献する取り組みです。
ピクテ・ジャパンが受取る収益（信託報酬）の一部を、
対象ファンドの取扱い純資産総額に応じて配分し、
46道府県^注の地域再生計画に基づく事業に寄付します。



当プロジェクトの
主な寄付のテーマ



環境



教育



栄養



福祉



防災・復興

2022年度
寄付先事業例
宮城県



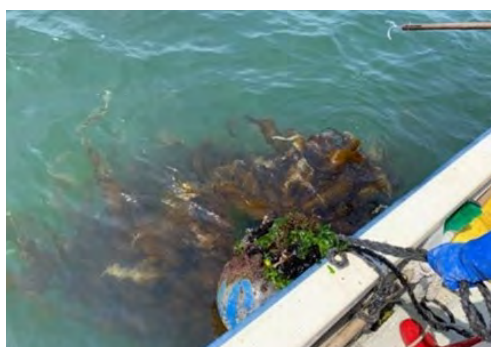
みやぎ沿岸の森づくりプロジェクト。 温室効果ガス排出量の削減を探る事業に活用

本県沿岸部における海岸防災林の保育や藻場の造成・保全等の取組を推進している。グリーン(森林)ではみやぎ海岸防災林・森林(もり)づくり協議会を中心とした海岸防災林の維持管理、普及活動を実施、ブルー(海)も宮城県ブルーカーボン協議会を中心としてモデル地区での藻場造成等を実施しており、グリーン・ブルー両面から2050年脱炭素社会実現に貢献するための取組を展開している。

寄付先事業例のイメージ



(グリーン) 海岸防災林に親しむツアーの開催



(ブルー) シンポジウムによる理解醸成, モデル地区での活動

※上記はあくまでも寄付先事業例のイメージであり、実際とは異なる場合があります。

皆様の温かいご支援のおかげで、対象ファンドの金融機関における販売のお取扱いは全国各地に広がりました。

その結果、全国46道府県への寄付が実現可能となりましたことを心より御礼申し上げます。今後も長きにわたって共に歩んできたネットワークを通じて、地域の皆様にファンド等を通じた、持続可能な社会に向けての取組みを継続してまいります。

対象ファンド等の詳細は、
こちらをご覧ください。

